

8 本時の学習（5／7 時間）

(1) 本時の目標

- 誰もが楽しくゲームに参加できるような規則を選ぶことができる。
(思考力、判断力、表現力等)

(2) 本時の評価項目

- 誰もが楽しくゲームに参加できるように規則を選んでいる。
(思考・判断・表現)

9 学習指導過程（5／7時）

段階	学習内容及び学習活動	指導上の留意点	○：評価項目 (評価の方法) 【Aの例】	「努力を要する」状況と判断される児童への手立て
はじめ 10	1 整列、挨拶 2 主運動(ゲーム)につながる動き ・ ネットをはさんでラリー練習 3 本時のねらいを確認する。 みんなが楽しめるルールを考えよう。	○ テンポよく行えるようにBGMを利用する。 ○ 動画視聴や児童の振り返りを提示することで、本時の課題を発見し、課題解決に向けての意欲をもつことができるようにする。		
なか 28	4 ゲームのルールを確認し、各チームルールを選択する。 【基本ルール】 ・ ネットをはさんで1チームで行う。 ・ 時間制で行う。 ・ ボールは3回で返す。 ・ スタートは反対コートに投げ入れから始める。 ・ 1人が続けて2回触ることはできない。 ・ ラリーが止まったら、0から数え直す。 ・ バウンドしたらアウト。(1回または2回) 5 ゲーム①を行う。 【選ぶ規則】 〈ボール〉 ①50g ②100g 〈ラリーが続くためには〉 ①キャッチ ②ワンバウンド ③ノーバウンド 6 ゲーム①を振り返り、課題解決のための話し合いや練習を行う。 5時間目：みんなが楽しめるようにチームに合ったルールを選ぶ 1回目 ラリーが続くようにチームで話し合ってルールを選んでみよう！ (動画をききながらみよう！) 〈ボール〉 ①50g ②100g 〈技 能〉 ①キャッチ ②ワンバン ③ノーバン 選んだルールのわけを考えながら選ぼう (なぜなら…) 【ボール】 軽い・ちょうどいい・重い 【技 能】 ①みんなできた・できなかった ②仲間につなげた・つなげなかった 7 ゲーム②を行う。 8 南小ラリーコンテストルールについて話し合う。	○ ラリーの回数を記録することで、これまでの記録を更新しようとする意欲を高める。 ○ ルール選択後、チームごとに練習することで、ゲームに向けての準備時間と運動量を確保する。 ○ 他チームのゲーム中、ラリーが途切れた時やラリーが上手く繋がった時のプレーに着目し観察させることで、個人や自チームでの振り返りや児童同士アドバイスに生かし、ゲーム②に向けた練習に課題をもって取り組めるようにする。 ○ デジタル学習カードを活用して規則について話し合えるように準備をする。 ○ 選択した規則でみんなが楽しめたか尋ねることで、規則の選択ができていない児童を支援する。 ○ 本時の学習活動を踏まえて、南小ラリーコンテストのルールを決定する。	○ 誰もが楽しくゲームに参加できるように規則を選んでいる(観察・シート) 【○ 誰もが楽しくゲームに参加できる規則を選んでいる】	○ 選択した規則が適切ではない場合は再選択するように助言をする。
おわり 7	9 めあてに対する本時の振り返りを行い、教師の評価を聞く。 みんなが楽しめるルールで南小ラリーコンテストを楽しもう。 10 挨拶、用具の片付けをする。	○ 課題解決につながった友達との対話を記録させることで、対話的に学習を進めることを児童に意識付ける。		